

## 「しげる節目」の教育活動

☆ 令和6年度 磐田西小の育てたい資質・能力

- 問題解決力    ○ 批判的思考力    ○ 伝える力    ○ 協働する力

1 期間    8月29日（木）～10月31日（木）

2 キーワード

- 確かめる・さらに進む

夏休みも終わり、2学期が始まります。今年度は、「協働的な学びを通して自らの学びを実感する子」、「しなやかな心を持ち夢中になって取り組む子」を目指し、スタートを切りました。これまでのめぶく・もえる節目を通してできるようになったことや成長したことを確かめるとともに、目標に向けてこれから何を目指していくのか子どもたちと考えます。そして、子どもたちと共通のイメージをもって取り組む、しげる節目をスタートさせていきます。



3 学年の取組み    ～第2学年～

(1) もえる節目の子どもたちの様子

- ・「聞く」指導を継続することで、友達の意見を自分の考えと比べて聞くなどの姿勢が身に付いてきました。
- ・係や当番など自分の役割を果たす子が多いです。

(2) しげる節目の目標

重点目標 「多様性を認め合い、学び合う授業づくり」

学びづくり		部	心づくり	
協働的な学びを通して、 自らの学びを実感する子		育てたい子	しなやかな心を持ち、 夢中になって取り組む子	
話す・聞く・書く	協働する力	しげる節目 の目標	生活	協働する力
自分の考えに理由 を付けて話す。	ペアやグループで の話し合い活動から 友達の考えを受け止める。		友達と協力して活 動する。	自分の良さを見付 け、自信をつける。

(3) 指導のポイント

- ・「聞く」指導を引き続き継続した上で、「話す」指導にも力を入れます。  
話す指導：身近なことや経験したことなどから、話す内容を提示します。  
話す内容の時間の経過などを思い出しながら、順序立てて話させます。  
姿勢や声の大きさ、速さなどに注意して、はっきりとした発音で話させます。  
丁寧な言葉と普通の言葉(友達との会話)との違いに気を付けて話させます。
- ・帰りの会で一日の振り返りの時間をつくり、友達のよいところを相手に伝えることで互いを認め合い、自分のよさに気付かせます。
- ・係や当番の仕事に取り組むことで、責任感や達成感、相手を認める心を育みます。